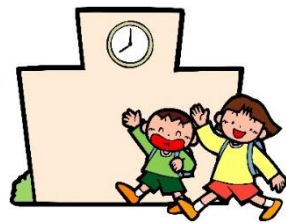


府中小コミュニティ・スクールだより

NO. 13 令和7年10月20日 発行責任者 校長 青木 真智子



6年生の茶道体験

6年生は社会で歴史について学習をしています。室町時代の文化で千利休が茶道を確立したことを学びました。理解を深めるために社会の学習の一環として10月16日(木)の3校時に3・4組が、4校時に1・2組が茶道体験をしました。

講師には、府中町にお住まいの長門香苗先生にお越しいただきました。長門先生は府中中学校や府中緑ヶ丘中学校で43年間にわたり、茶道部と華道部の指導をされておられます。府中小学校を卒業されており、子供たちの大先輩でもいらっしゃいます。長門先生から「茶」も「華」にも草かんむりがあり、日本人は自然と調和する文化を大事にしてきたことやお菓子やお茶のいただき方や作法についても丁寧に教えていただきました。

東校舎3階の礼法室の和室で正座をして作法にのっとり、普段と違う雰囲気、緊張した面持ちで懐紙の上のお菓子を食べたり両手でお茶碗をもちお茶を飲んだりすることができました。また、3名の保護者のボランティアの方が子供たちの活動を支えてくださいました。

6年生の子供たちにとっても日本文化に触れることのできるとても貴重な機会になりました。本当にありがとうございました。

【子供たちの声】

- 茶道について学習したこと以外について、茶道のルールやお茶を飲む時に使う物の使い方も知ることができてよかったです。
- 初めて茶道を体験しました。茶道への興味も高まりました。
- 初めて茶道に触れて、お茶の飲み方や作法を知ることができて、とても楽しかったです。
- 現在社会科で学習している室町文化や茶道について理解を深めることができました。
- 茶道は昔から受け継がれていて静かでいいなと思いました。
- 室町文化についてちょうど興味をもっていたところだったので、お茶に親しむことができてとてもうれしかったです。



正座で懐紙を使いお菓子を食べました



作法にのっとりお茶をいただきました



保護者のボランティアさんがお茶碗を洗ってくださいました

2学期の学びアップ教室で…

2学期になり、1年生の子供たちも木曜日に行われる学びアップ教室に参加をしています。6名の地域の学習ボランティアの皆さんに算数科の個別指導をサポートしていただいています。

1名のボランティアさんが1人から2人の子供の指導を担当されているので、子供たちもそれぞれのペースでじっくりと学習に取り組むことができます。学習ボランティアの皆さんに温かい言葉で励ましていただいたりほめていただいたりしているため、子供たちのやる気と根気、自信もアップしています。



教育実習生さんにも教えていただいています

6年生ナップザックが完成！

6年生の家庭科「思いを形に生活を豊かに」の学習で、ナップザック作りに取り組みました。ミシンを使い布を縫っていきましました。授業では、延べ20名のミシンボランティアの皆さんにご協力をしていただきました。5年生の時のエプロンを作った時以来で久しぶりにミシンを使うため、最初は戸惑い、苦労していた6年生の子供たちでしたが、ミシンボランティアの皆さんの支援で、徐々にミシンの使い方も慣れ、ナップザックが完成しました。

ミシンボランティアさんには仮縫い、ミシンの使い方、アイロンのかけ方など多くのことをサポートしていただきました。ナップザックは10月23・24日の修学旅行に持って行き、使います。素敵なナップザックが出来上がり、子供たちもとてもうれしそうでした。



バザーの収益金の一部をもとに学年園でジャガイモとタマネギを育てています。2名の業務員さんが学年園の草抜きをし、きれいに耕し、苗を植えてくださいました。

ジャガイモとタマネギは順調に育っています。5年生児童の有志が野菜のお世話もしてくれます。

収穫された野菜は販売をし、CSの活動費にする予定です。

